

治山事業 現場見学会～山地災害に備えて～を開催しました！

近年、局地的な豪雨によって、山地災害が多発しており、林業部では荒廃した溪流等を復旧するため治山事業を行っています。

今回、福井市折立町(三ツ又)において実施している治山事業について地区住民の理解を深めてもらうため、平成28年8月15日(月)に現場見学会を開催し、12名の方にご参加いただきました。折立町公民館にて、山地災害等について研修を行った後、三ツ又という溪流で行っている治山ダムの工事現場の見学を行いました。



【説明の様子】



【現場見学の様子】



研修では「山崩れ」「地すべり」「土石流」等の山地災害の概要や治山ダムの役割、工事の工程等を説明しました。併せて災害への備えが何より必要ですので防災情報の利活用について理解を深めていただきました。

【災害への対応、治山事業の要望について】

1. 災害発生時または発生の前兆がみられた時には、すぐに福井市または永平寺町へ通報し、速やかに避難して下さい。
2. 日頃より、危険箇所、避難場所を確認し、非常時に備えて下さい。
3. 治山事業の要望があれば、福井市、永平寺町または当所林業部にご連絡下さい。
(※治山事業は保安林内なら実施可能)

【山地災害を発見した場合の連絡先】

- 福井市 農林水産部林業水産課 ☎0776-20-5430
- 永平寺町 農林課 ☎0776-61-3947
- 福井農林総合事務所 林業部事業課 ☎0776-21-8214



編集後記

紅葉の季節ですね。今回は秋ということで食に関することを多く取り入れました。「アグリ・マルシェ」での対面販売は農家の方からいろいろな意見をいただける貴重な場となっています。今後とも農家の協力を得ながら魅力を発信していきたいと思ひます。

 発行：福井農林総合事務所
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10 (福井合同庁舎内)
TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201
農業経営支援部(直通) 0776-21-8207
林業部(直通) 0776-21-8213
農村整備部(直通) 0776-21-8216
E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

F-mail

No. 51

平成28年11月20日号



福井農林総合事務所だより

献穀抜穂式が行われました

11月23日に宮中三殿で行われる新嘗祭に奉饌される新穀(精米、精粟)を献納するための抜穂式が行われました。福井県からの献穀は明治25年から実施されており、当事務所管内では平成23年以来の5年ぶりの開催です。

抜穂式で収穫された新穀は、乾燥・調製後、10月28日に奉耕者が宮中に献納しました。

1 献穀粟抜穂式

9月4日に福井市南山町の奉耕者細江昭夫氏の圃場で120名が参列し行われました。

式典では奉耕者と県や市、JA関係者と刈女が穂の刈取を行いました。

粟は6月4日の播種式以降、奉耕者が灌水や追肥、鳥害防止のネット掛け等丹精込めた栽培管理をされ、見事な穂をつけていました。



粟の抜穂をされた方々

2 献穀田抜穂式

9月16日に福井市波寄町の奉耕者長谷川忠夫氏の圃場で180名が参列し行われました。

式典では奉耕者と県や市、JA関係者と刈女が穂の刈取を行いました。

稲(品種コシヒカリ)は5月20日の田植式以降、奉耕者が水管理や追肥等丹精込めた栽培管理をされ、倒伏もなく黄金色の穂をつけていました。



稲の抜穂をされた方々

増え続ける有害獣を撃退！～アライグマ・ハクビシンに電気ショック～

中獣類の侵入を防ぐには電気柵が使われますが、より有効な対策として、当所と福井市、県農業試験場が連携し、末松電子製作所の協力を得て、防草効果もある「獣害対策通電シート」を使った電気柵の設置試験を福井市南江守町の園芸圃場で行っています。

効果について定点カメラ等を使って確認し、中獣類対策が必要な集落等へ広く周知したいと考えています。



電気柵

獣害対策通電シート
白い線が電線

電気柵と獣害対策通電シート設置の様子

平成28年度に開発した農林業者の6次産業化商品を紹介します。

J A 福井市南部女性部落花生部会 「殻付き落花生」と落花生のペースト

「プレーン」、「加糖」、「加塩」タイプの3種類

掘って、洗って、乾かして更に乾煎りした、手塩にかけて育てた落花生。

殻付き落花生は、甘くて香ばしい美味しさ。ペーストは焼きたてパンには勿論のこと、サラダや和え物、料理の仕上げ・隠し味にお使いいただけます。



HJK加工部米工房 ほ・た・る 「菜のOkoshi」

厳選したお米と野菜で、今までにないカラフルで多彩な味わいの「おこし」がそろいました。その日の天気や温度に合わせて、混ぜ具合や固さを調整しながら、オリジナルな作り方で一つひとつ愛情込めてさくさくと軽やかに仕上げています。



有限責任事業組合 ちそのかほり 「木田ちそゼリー」

伝統の福井野菜「木田ちそ」の香りの高さかつるんとした食感。冷やしてつるんと飲んでよし、凍らしてシャリシャリと食べてもよし。懐かしい美味しさをお好きな食べ方でどうぞ。



次世代を担う小学生に 福井の農業の魅力と誇りを発信します！

平成11年に着工した国営九頭竜川下流地区のパイプラインが完成し、九頭竜川鳴鹿大堰から取水するきれいで冷たい水が、今年4月から約1万2千ヘクタールの農地に安定供給されています。

このパイプラインを含め、日本一の生産基盤を備えた九頭竜川流域の農業を広く発信するため、職員がゲストティーチャーとして農業の授業や体験学習に参画し、児童にわかりやすく福井の農業を伝える活動に取り組んでいます。

今年度は福井市、永平寺町の小学校16校で実施し、引き続き、来年度も実施校を増やしていきます。

出前授業

福井市鶉小学校5年生



教材

【授業後の先生・児童の感想】

- (先生) ・ 農業の現状や新たな展開が知れて児童共々ありがたい。
・ 講義形式でなく、グループ討論・発表など参加型の授業内容であり、児童の反応もとても良い。
- (児童) ・ パイプラインになり、きれいで冷たい水でおいしいお米が作れて、とてもいいなと思った。
・ 高齢化が進んでいるので、農業をやってみたいと思った。

学校田での稲刈り・はさがけ体験

福井市西藤島小学校5年生 稲刈り



麻紐結び



はさがけ



昔ながらの「はさがけ」で 新米 九頭竜天日干し米が出来ました！

当所と管内生産者が共働し、パイプラインのきれいで冷たい水を活用する「夜間かんがい」と昔ながらの「はさがけ」を行い、じっくりと太陽の日差して自然乾燥させた九頭竜天日干し米が出来ました。平成28年10月22日(土)、23日(日)には、福井県立歴史博物館で開催された「アグリ・マルシェ」で生産者自らが自慢のお米を販売しました。お米の試食を通して、味や香りの良さを実感してもらうとともに、「はさがけ」の取り組みをPRしました。

来年度も、「はさがけ」による高付加価値米の生産拡大と販路開拓を進めていきます。



生産者による対面販売

※来年度、学校教育で「出前授業」を取り入れたい先生方や、「はさがけ」に取り組みたい生産者の方は、ぜひ、農村整備部計画管理課までご一報ください。